

問1 ユーラシア大陸北部の気候と植生の関係について、冷帯（亜寒帯）と寒帯の違いを説明した文として正しいものはどれですか。なお、どちらの気候区も年間の降水量は比較的少ないものとします。（2018年 埼玉県公立入試 類似）

1. 冷帯は夏に気温が上がるためタイガと呼ばれる針葉樹林が広がるが、寒帯は夏も気温が低いため樹木が育たない。
2. 冷帯は降水量が多いため広葉樹の森林ができるが、寒帯は乾燥が激しいため樹木が育たない。
3. 冷帯は冬の気温が氷点下にならないため樹木が育つが、寒帯は一年中氷点下のため地衣類しか育たない。
4. 冷帯は永久凍土が存在しないため大きな樹木が育つが、寒帯は地下に永久凍土があるため草木しか育たない。

問2 西アフリカのギニア湾に面したコートジボワールやガーナ、および東南アジアのインドネシアなどの、赤道に近い低緯度地域で世界的な生産量が多い商品作物を答えなさい。（2026年 広島県公立入試 類似）

1. コーヒー豆
2. ブドウ
3. カカオ豆
4. 茶

問3 地中海東岸からペルシャ湾周辺、さらにアフガニスタンに至る西アジアの地域に見られる自然環境と生活文化の関連について述べた文として、最も適切なものはどれですか。（2025年 神奈川県公立入試 類似）

1. 冷帯から寒帯に属する地域が多いため、防寒性の高い厚手の毛皮を日常的に着用する。
2. 乾燥帯の地域が多く、水や草を求めて家畜とともに移動する生活が見られる。
3. 肥沃な温帯の土地が広がり、主食としてトウモロコシの栽培が盛んに行われている。
4. 一年を通じて高温多湿なため、風通しの良い高床の住居が一般的に普及している。

問4 北アフリカから中央アジアにかけて広がる広大な乾燥地帯において、自然に生えるわずかな水や草を求めて、羊やラクダなどの家畜と共に移動しながら飼育を行う生活形態を何と呼びますか。（2016年 鹿児島県公立入試 類似）

1. 焼畑農業
2. 定住農業
3. 遊牧
4. 放牧

問5 世界の宗教分布に関する統計資料において、ロシア全域や東ヨーロッパ、バルカン諸国が同一の宗教分布域として示されている場合、その地域で共通して信仰されているキリスト教の宗派について、正しい説明はどれですか。（2019年 兵庫県公立入試 類似）

1. イタリアやフランスなど、南ヨーロッパを中心に発展したカトリックである。
2. 中東や北アフリカを中心に広がり、中央アジアでも信仰されているイスラム教である。
3. 北ヨーロッパやアメリカなどで多く信仰され、個人の信仰を重視するプロテスタントである。
4. 東ローマ帝国の文化を継承し、ロシアやギリシャなどで厚く信仰されている正教会である。

問6 東南アジアの島嶼部に見られる伝統的な住居の工夫について、その地域の自然環境と関連付けて述べた文として正しいものを次の中から選びなさい。（2021年 岩手県公立入試 類似）

1. タイガと呼ばれる針葉樹林が広がっているため、豊富な木材を利用して丸太づくりの住居に住んでいる。
2. 降水量が極めて少なく乾燥しているため、窓を小さくし、日干しレンガで家を建てている。
3. 広大な草原が広がっているため、家畜の移動に合わせて簡単に解体・組み立てができる住居を用いている。
4. 年中高温多湿であるため、高床式住居にして風通しを良くし、湿気や暑さへの対策としている。

問7 サバナ気候において、一年の中で降水量の多い雨季と、ほとんど雨が降らない乾季が明瞭に分かれる理由として、最も適切な説明はどれですか。（2019年 静岡県公立入試 類似）

1. 大陸内部に位置しており、海から遠いために一年を通じて乾燥した季節風の影響を強く受けるため。
2. 上昇気流が発生しやすい赤道低圧帯と、乾燥した下降気流が発生する中緯度高圧帯の影響範囲が季節によって移動するため。
3. 一年中、赤道低圧帯の影響のみを強く受けることで、毎日午後にはスクールが発生し続けるため。
4. 寒流の影響で空気が冷やされ、上昇気流が発生しにくくなる時期が半年間続くため。

問8 冷帯（亜寒帯）のシベリア地方において、建物の熱による地盤沈下を防ぐために高床式の住居が建てられる原因となっている、地下深くまで一年中凍ったままの土壌を何といいますか。（2016年 鹿児島県公立入試 類似）

1. 泥炭
2. 永久凍土
3. ツンドラ
4. タイガ

問9 北欧付近などの高緯度地域に見られる冷帯（亜寒帯）の気候的特徴について、統計データに基づいた説明として最も適切なものはどれですか。なお、この地域の典型的な地点では、1月の気温がマイナス10度近く、7月の気温が12度程度、年降水量は478.5mmとなっています。（2023年 福岡県公立入試 類似）

1. 冬の気温が氷点下まで下がり、夏と冬の気温差（年較差）が大きい。
2. 一年中気温が高く、スコールと呼ばれる激しい雨が毎日降る。
3. 年平均気温は氷点下となり、一年を通して樹木が全く育たない。
4. 夏は乾燥して日差しが強く、冬に一定の降水がある。

問10 熱帯の高温多湿な気候に適しており、その根からとれるデンプンがタピオカの原料としても利用される、赤道周辺の地域で重要な食糧源となっているイモ類を選びなさい。（2023年 愛媛県公立入試 類似）

1. ジャガイモ
2. ぶどう
3. キャッサバ
4. 小麦

問11 北アメリカ北部の高緯度地域において、年平均気温が約10度と低く、冬の気温が氷点下まで下がるという気候条件が生じる主な理由と、人々の生活への影響の組み合わせとして正しいものはどれですか。（2016年 千葉県公立入試 類似）

1. 赤道に近く上昇気流が発生しやすいため年間を通じて雨が多くなり、高床式の住居が普及している。
2. 高緯度で太陽の光を受ける角度が低いため冬の寒さが厳しくなり、住宅には高度な断熱材や暖房設備が必要となる。
3. 標高が極めて高い山岳地帯であるため空気が薄く、酸素ボンベを携帯して移動することが一般的である。
4. 大陸の西側に位置し、寒流の影響で夏に気温が上がらないため、一年中厚手の毛皮を着て生活している。

問12 北半球の東アジアで見られる温帯気候の特徴について、同じ温帯に属する「地中海性気候」と比較した説明として最も適切なものはどれですか。なお、比較対象となる東アジアの地点は、7月の平均気温が約27度、1月の気温が0度近く、夏季に降水量が集中する統計を示しています。（2024年 富山県公立入試 類似）

1. 地中海性気候と東アジアの温帯気候はどちらも北半球にあり、どちらも1月に最も気温が高くなる。
2. 地中海性気候は冬に気温が著しく下がるのに対し、東アジアの温帯気候は一年中温暖である。
3. 地中海性気候は季節風の影響で夏に雨が降るが、東アジアの温帯気候は偏西風の影響で冬に雨が降る。
4. 地中海性気候は夏に乾燥するのにに対し、東アジアの温帯気候は夏に降水量が多くなる。

答え合わせ・解説

問1	答え 1 冷帯は夏に気温が上がるためタイガと呼ばれる針葉樹林が広がるが、寒帯は夏も気温が低い ため樹木が育たない。	冷帯と寒帯の最も重要な違いは「樹木が育成できるかどうか」にあります。冷帯（亜寒帯）は冬の寒さは非常に厳しいですが、短い夏の間に気温が上昇するため、タイガなどの針葉樹林が形成されます。対して寒帯（特にツンドラ気候）では、最も暖かい月の平均気温でも10度未満であり、樹木が育つ条件を満たしていません。また、冷帯においても地中に永久凍土が見られる地域は多いため、凍土の有無が決定的な違いではありません。
問2	答え 3 カカオ豆	西アフリカのコートジボワールやガーナ、東南アジアのインドネシアは、いずれも赤道付近に位置しています。これらの地域は年間を通じて気温が高く降水量が多い熱帯気候であり、その気候条件を好むカカオ豆の栽培が盛んに行われています。特にコートジボワールとガーナの2カ国で、世界の生産量の大きな割合を占めているのが特徴です。
問3	答え 2 乾燥帯の地域が多く、水や草を求めて家畜とともに移動する生活が見られる。	西アジアは、シリアやサウジアラビア、アラブ首長国連邦など、地理的に乾燥帯に属する国々が集中しています。このような地域では、水資源が非常に貴重であるため、定住農耕よりも家畜の移動放牧（遊牧）が環境に適しています。また、住居においても日差しを遮る工夫がなされるなど、生活様式の全般が「乾燥」という気候条件に強く影響を受けています。
問4	答え 3 遊牧	乾燥帯は降水量が非常に少なく、一箇所に留まって家畜を飼い続けると、すぐに草を食べ尽くしたり水が枯渇したりしてしまいます。そのため、家畜の餌となる草や水を確保するために、季節や環境の変化に合わせて広範囲を移動するこの形態が発達しました。大規模な設備で家畜を放し飼いにする「放牧」とは、移動の目的や生活様式の面で区別されます。
問5	答え 4 東ローマ帝国の文化を継承し、ロシアやギリシャなどで厚く信仰されている正教会である。	正教会は、歴史的にコンスタンティノープル（現在のイスタンブール）を首都とした東ローマ帝国の影響を強く受けています。この影響から、キリル文字を使用するロシアやウクライナ、南方のギリシャやバルカン半島諸国へと広がりました。カトリックが主にラテン系の南ヨーロッパ、プロテスタントがゲルマン系の西・北ヨーロッパで多いことと対比して理解することが重要です。
問6	答え 4 年中高温多湿であるため、高床式住居にして風通しを良くし、湿気や暑さへの対策として いる。	世界の諸地域では、その土地の気候や地形に合わせて住居の形式が発展してきました。インドネシアなどの東南アジア島嶼部は熱帯雨林気候に属し、多雨で蒸し暑い環境にあります。そのため、風通しを最優先した高床式の構造が選ばれています。一方で、乾燥帯では日干しれんが、モンゴルのような乾燥した草原では移動式の住居、ロシアのような冷帯では丸太小屋（イズバ）といったように、それぞれ異なる工夫が見られます。
問7	答え 2 上昇気流が発生しやすい赤道低圧帯と、乾燥した下降気流が発生する中緯度高圧帯の影響 範囲が季節によって移動するため。	サバナ気候の最大の特徴である雨季と乾季の交代は、地球規模の気圧帯の移動によって生じます。太陽の直射を受ける地域が季節によって南北に移動するため、雨をもたらす赤道低圧帯（熱帯収束帯）に覆われる時期は雨季となり、乾燥した中緯度高圧帯（亜熱帯高圧帯）に覆われる時期は乾季となります。
問8	答え 2 永久凍土	地中の温度が一年を通じて0度以下に保たれ、連続して凍結している土壌のことを永久凍土と呼びます。冷帯の厳しい寒さによって形成されますが、近年の地球温暖化の影響でこの永久凍土が解け、地盤沈下や建物への被害が出るだけでなく、地中に閉じ込められていた温室効果ガスが放出されるといった問題も指摘されています。
問9	答え 1 冬の気温が氷点下まで下がり、夏と冬の気温差（年較差）が大きい。	冷帯（亜寒帯）は、太陽からの熱を受ける効率が悪い高緯度に位置するため、全体的に年平均気温が低くなります。最大の特徴は、冬にはマイナス10度前後まで激しく冷え込む一方で、夏には10度以上に気温が上がることであり、温帯などと比較しても季節による気温の変動が非常に大きくなります。また、降水量は年間を通して500mmを下回るなど、比較的小少なめであることも特徴の一つです。
問10	答え 3 キャッサバ	熱帯地域では、激しい雨（スコール）や強い日差し、痩せた土壌という厳しい環境でも育つ作物が求められます。キャッサバはこうした環境への適応力が強く、アフリカや東南アジア、南アメリカなどの赤道に近い地域で主食として、あるいは輸出用の加工原料として広く栽培されています。
問11	答え 2 高緯度で太陽の光を受ける角度が低い ため冬の寒さが厳しくなり、住宅には高度な断熱材や暖房設備が必要となる。	高緯度地域では、低緯度地域に比べて太陽光が斜めに差し込むため、単位面積あたりに受けるエネルギーが少なくなります。これにより冬の気温がマイナス10度近くまで下がる過酷な環境となるため、カナダなどの地域では室内を効率よく暖めるセントラルヒーティングや、熱を逃がさないための住宅構造が発達しています。
問12	答え 4 地中海性気候は夏に乾燥するのに対し、東アジアの温帯気候は夏に降水量が多くなる。	温帯の中でも、大陸の西側に広がる地中海性気候は、夏に亜熱帯高圧帯（中緯度高圧帯）の影響を受けるため、非常に乾燥するのが特徴です。これに対し、大陸の東側に位置する東アジアの温帯は、季節風の影響で夏に多くの雨が降ります。提示されたデータでも、7月の気温が高い時期に降水量が増加する傾向があり、これは地中海性気候とは正反対の降水パターンであることを示しています。